

待 兼 山

大阪大学経済学部同窓会

2026年（令和8年）4月1日 第42号

ホームページ <https://www.web-dousoukai.com/machikaneyama/>



旧制浪高生の像と大学会館（旧イ号館）



2025.7.5 同窓会総会



2025.7.5 総会懇親会



2025.11.1 まちかね祭



2025.11.25 ECOCA



2026.1.23 代表幹事会新年会

ノーベル賞

大阪大学経済学部同窓会 会長 **藤井 政志**

三菱ガス化学株式会社 代表取締役会長（29期・1981年卒）

経済学部同窓会会長を昨年より拝命しております藤井でございます。三菱ガス化学という会社の代表取締役会長でもあります。

昨年秋、タイガースの優勝に続きビッグニュースが飛び込んできました。大阪大学の坂口志文先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されたとのこと。驚くと同時に非常に嬉しく感じました。

昔のことですが、わが経済学部に関係する森嶋通夫ロンドン大学教授(大阪大学名誉教授)の講演を聴講したことがあります。詳細は忘れてしまいましたが、経済学部の階段教室だったことは覚えています。この森嶋教授は当時ノーベル経済学賞に最も近い日本人と言われていました。坂口先生の受賞を聞いた時に、真っ先に森嶋教授のことが頭を過りました。森嶋先生の数理マルクス経済学は勉強嫌いの小生には難しすぎたのでしょうか、全く理解しないまま大学を卒業してしまいました。

話を元に戻しましょう。坂口先生の受賞祝賀会が2月に行われ出席してきました。沢山の関係者が出席されており、もちろん大阪大学総長の祝辞に始まり、ご本人のユーモアたっぷりのスピーチも拝聴させていただきました。

大学の関係者がこういう素晴らしい賞を受賞されることも素晴らしいことですし、小生には縁遠い話ではありますが誇らしく感じています。

大学の同窓というのは、縁あって同じ大学に通った、同じ教室で学んだというだけのことですが、親和性を感じます。これが同

窓会なのです。

小生も若い時には全く興味がありませんでした。仕事や家庭で忙殺されていたということもあったと思います。今はそれなりの年齢になり、こういう関係性が人生において大切なものだと感じています。後輩から相談を受ければ一緒に考えますし、先輩から指示されればそれなりに応えようと努力します。弊社社内でも卒業生が70名あまり在籍しています。折角なので社内同窓会を組織しました。集まって会話し酒を酌み交わすだけなのですが、皆さん飲んでくれています。こういう関係性、上司部下でもない、それでいて親しみを感じる関係を皆さん望んでいたかのようです。

同窓会と言う組織を維持していくのは大変なことです。でも現在まで数十年(再来年には経済学部創設80周年と聞いています)維持されてきたのです。この親和性と関係性を将来に繋げていきたいと強く思っています。坂口先生のノーベル賞受賞の喜びを同窓生の皆さんと共に分かち合おうではありませんか。



阪神タイガース 藤川監督と



経済学研究科・学部の近況報告

同窓会名誉会長 経済学部長・経済学研究科長 佐々木 勝

日頃より、同窓会の皆様には多くのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

去年は、EXPO2025大阪・関西万博が開催され、大阪が盛り上がりを見せました。さらに、阪神タイガースの優勝という喜びもあり、大変活気ある1年だったと言えます。本学におきましても、昨年4月に熊ノ郷淳総長が就任し、新たな体制がスタートしました。そして10月には、本学免疫フロンティア研究センター特任教授である坂口志文先生が、ノーベル生理学・医学賞を受賞されるという輝かしい快挙を達成しました。

ここで、経済学研究科・学部の近況報告をさせていただきます。教員一同が研究に熱心に取り組んだ結果、昨年10月に確定した令和6年度部局アクションプランにおいて、研究区分で「A」の評価を受けることができました。また、佐藤秀昭准教授と上須道徳教授が、本学における研究や教育への多大な貢献が称され、「令和7年度大阪大学賞」を受賞しました。さらに学外においては、笠原晃恭准教授が、日本経営財務研究学会のYoung Researcher Award 2025を受賞されました。

退職された教員も引き続き輝かしい活躍をされています。阿部武司名誉教授が、日本における綿産業の技術革新や産業構造の変化を丹念に分析した研究が評価され、日本学士院賞を受賞されました。また、宮本又郎名誉教授が日本学士院会員に選定されるという喜ばしい報告もございました。このように、本学部の教員は学内外で大きな成果を上げております。

教育面におきましては、令和7年度学部入学試験における志願者倍率が3.7倍となり、例年を上回る関心と期待を集めています。また、博士後期課程では、前期課程から後期課程へ進学する内部進学者の増加により、定員充足率の大幅な改善が実現しました。これも経済学部同窓会が支援してくださっている博士後期課程への教育助成（R2PhD）の効果が大きいものと感じております。この助成を受けた中山一世さん（博士後期課程在籍中）は、国際医療経済学会（iHEA）における2024年Student Paper First Prizeを受賞するという素晴らしい成果を挙げております。

最後に、本学における社会貢献活動についてご報告させていただきます。2024年度から本格的に始動した「子ども食堂のインパクト評価プロジェクト」は、大阪府下の自治体、社会福祉協議会、関連するNPO団体などとの連携を引き続き強化しながら進めております。このプロジェクトでは、EXPO2025大阪・関西万博テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン（いのち宣言）」の理念を受け継ぎ、「誰も取り残さない」社会の実現を目指しています。本学で培った共感経済に関する知見を活かし、様々なステークホルダーとともに社会課題の解決に取り組んでまいります。

今後も、経済学部同窓会の皆様とのより一層の関係深化を目指し、全力を尽くしてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第26回総会報告

大阪大学経済学部同窓会の第26回総会を2025年7月5日（土）14時30分より、リーガロイヤルホテル大阪において約100名の参加を得て開催しました。総会は総会議事、記念講演、懇親パーティの3部構成で開催しました。ご参集いただきました皆様ありがとうございました。

◆新会長に藤井政志氏が就任

このたび同窓会会長には三菱ガス化学株式会社の藤井政志会長（29期、1981年卒）が就任され、総会において就任挨拶をいただきました。

井上ゆかり前会長には6年間お務めいただき同窓会活性化に取り組んでいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

新しい役員体制につきましては、同窓会ホームページをご覧ください。

総会の記念講演はベインキャピタル・ジャパンLLCの百瀬裕規会長（33期、1985年卒）から「変化する日本株式市場とPEファンド」と題してお話いただきました（講演要旨は3ページに掲載）。

記念講演後、懇親パーティを開催し参加者が一堂に会して和気藹々と懇親しました。ECOCA（学生部会）、青年

会の活動紹介を交え、最後は寮歌の披露もあり盛会のうち2年後の再会を約してお開きとなりました。

◆次回総会は2027年7月3日

次回総会は2027年7月3日（土）を予定しており、より多くの同窓生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。少し先にはなりますが、同窓生の皆様にはぜひご予定いただき、ご参加をお願い申し上げます。

経済学部同窓会 第26回総会 リーガロイヤルホテル大阪「山楽の間」

14:30	総会
開会挨拶	井上ゆかり会長
名誉会長挨拶	佐々木勝経済学部長
会務報告	(活動報告、令和5・6年度会計報告 令和7・8年度予算報告、役員改選)
会長就任挨拶	藤井政志会長
15:15～16:15	記念講演 「変化する日本株式市場とPEファンド」 ベインキャピタル・ジャパンLLC 会長 百瀬裕規氏
16:30～18:30	懇親パーティ

「変化する日本株式市場とPEファンド」

ベインキャピタル・ジャパン・LLC共同会長 百瀬 裕規 氏 (33期・1985年卒業)



◆自己紹介

私は1961年生まれ、大阪大学経済学部33期で井上前会長と同期です。1985年に大学を卒業して野村証券に入社しました。1985年は阪神タイガースが日本一に輝いた年です。当時はインターネットがありませんので、どの会社に入るかは、OBの印象と友達の情報しかなく、情報源である藤田ゼミの友達に相談すると「野村証券は、給料は良いが仕事がキツイ。阪大の卒業生の大半は、廃人ようになって辞めていく」と見てきたように教えてくれました。私は入社してから35年間在籍しましたが、確かにキツイ会社でした。目標ができないと激しく怒られ、達成すると激しく褒められる。時々誉められ、後は怒鳴られるというものでした。そこまでは情報はあっていましたが、大半の人が辞めるかと言えばそうではない。私の上下の、先輩と後輩は元気に頑張っています。

◆ベインキャピタルの活動

私の今のキャリアであるベインキャピタルについてご説明します。

ベインキャピタル (Bain Capital LLC) は、米国に本社を置く、プライベートエクイティファンド (以下PEファンド) です。1984年にボストンで設立し、2006年に日本法人を設立しました。PEファンドとは事業会社の未公開株を取得し、企業価値を高めた後に売却して収益を得る投資ファンドです。現在、当社はプライベートエクイティのみならず、クレジット、ベンチャーキャピタル、不動産投資など、多様な投資領域を展開する巨大ファンドとなっています。日本のPEファンドはまだ発展途上の状態ですが、東証市場再編やアクティビスト活動の活発化に伴い、増加傾向にあります。当社も多くの会社のご支援をさせていただいています。

◆日米の企業比較

日本の企業経営の考え方は、以下5点が米国と大きく異なります。

- (1) 会社に対する考え方。米国では会社(組織)が、「生きるための道具」であるのに対して、日本は「会社の存続」が最重要課題です。
- (2) 利益配分のやり方。米国では利益はすぐに大部分を分配するのに対して、日本は利益を留保し

て有事に備えます。

- (3) 借入金。米国では資本コストを下げるために極力借入を行うのに対し、日本は不測の事態に備え、借入を控えます。
- (4) 投資。米国が積極的にリスクを取るのに対し、日本はまずリスク回避を考えます。
- (5) 会社経営。米国は資産が少なく業界再編が進みやすいのに対し、日本は個社の資産が多く、大規模な再編が進みにくいです。

以上のことから海外の投資家からは「日本の株式市場は遅れており、米国型へ転換すべき」という声が上がっています。ではどうすればいいのか?それは借入金の使い方です。米国では収益を生まない資産を置いておくことは評価されず、借入金のレバレッジを活用し、株式価値を圧縮することでオーナー持ち分の引き上げや、現金化を実現して行きます。また借入金のレバレッジを活用する場合、その後の、①事業成長②評価の改善③負債の返済により、借入金を活用していない場合と比較して、株式価値のリターンをより高い水準に導こうとします。反面、日本企業は上場銘柄のうち、約6割の企業がネットキャッシュ(預金超過)であり、余剰資金は会社が保有します。多くのキャッシュを持つ企業に対して、アクティビストは配当の増加を要求してきます。加えて、東証・金融庁・経産省も「有利子負債を増やして資本コストを下げるべき」と指導しています。今後は借入金のレバレッジを活用しながら、会社の価値向上を行うことが重要です。

◆終わりに

私から申し上げたいのは、日本の会社はもっと借入金のアレルギーを無くした方がいいという事です。そして、会社だけを大事にする考えも、変えた方がいい。皆様の中で貯蓄がありながら、年金の範囲内で暮らされている方もおられるでしょう。お金はドンドン溜まり、死ぬときに最大になります。それは非合理的かもしれません。何にお金を使うかを考えて、必要であれば、計画的に借り入れを行なうことも良いと思います。

本日はご清聴いただきありがとうございました。

【会計報告】単年度収支が赤字に、年会費納入にご協力を。

令和6（2024）年度は、単年度収支で126万円余の赤字となりました（一般会計収支計算書の当期収支差額実績をご参照）。この主な要因は年会費収入の未達によるもので、年会費納入の促進が急務となっています。

ここ数年「大阪大学経済学経営学のトビラ」（シリーズ講演会）の実施など同窓会活動の魅力増進に取り組んでおりますが、残念ながら年会費納入者の増加につながないのが実情です。特に若年層の年会費納入者

の強化は喫緊の課題となっています。

引き続き同窓会の魅力向上に取り組んでまいります。会員の皆様のご希望ご意見を活動に生かしてまいりたいと思いますので、事務局までお寄せください。

同窓会活動を継続していくためには、会員皆様のネットワークを通じて同窓会行事への参加者を広げていくことが肝要です。今後ともご理解ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

一般会計収支計算書

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（単位：円）

科目	予算	実績	差異
I 収入の部			
1. 会費・入会金収入	4,605,000	4,121,000	484,000
(1) 入会金	250,000	335,000	△ 85,000
(2) 年会費	2,950,000	2,206,000	744,000
(3) 協賛金	1,300,000	1,493,000	△ 193,000
(4) 特別会費	105,000	87,000	18,000
2. 利息収入	300	1,294	△ 994
3. 雑収入	135,000	17,000	118,000
4. 特別会計戻入	0	0	0
(1) 総会	0	0	0
(2) 運営基金	0	0	0
当期収入合計	4,740,300	4,139,294	601,006
II 支出の部			
1. 事業費	1,575,000	1,965,300	△ 390,300
(1) 会報発行費	450,000	401,483	48,517
(2) 名簿作成費	0	1,200	△ 1,200
(3) 総会費	0	0	0
(4) 助成費	175,000	153,000	22,000
(5) HP運営費	200,000	854,519	△ 654,519
(6) イベント費	480,000	270,186	209,814
(7) 活動拠点運営費	270,000	284,912	△ 14,912
(8) 新価値創造調査費	0	0	0
2. 管理費	2,285,000	2,440,216	△ 155,216
(1) 業務委託費	720,000	730,000	△ 10,000
(2) 会員管理・会費事務費	750,000	842,772	△ 92,772
(3) 事務局管理運営費	300,000	300,000	0
(4) 会議費	450,000	486,000	△ 36,000
(5) 消耗品費	10,000	22,883	△ 12,883
(6) 通信交通費	25,000	14,966	10,034
(7) 慶弔費	20,000	37,710	△ 17,710
(8) 雑費	10,000	5,885	4,115
3. 特別会計繰入	1,000,000	1,000,000	0
(1) 総会	1,000,000	1,000,000	0
(2) 名簿	0	0	0
(3) 運営基金	0	0	0
4. 予備費	0	0	0
当期支出合計	4,860,000	5,405,516	△ 545,516
当期収支差額	△ 119,700	△ 1,266,222	1,146,522
前期繰越収支差額	2,052,510	2,052,510	0
次期繰越収支差額	1,932,810	786,288	1,146,522

特別会計収支計算書

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（単位：円）

科目	予算	実績	差異
(1) 総会特別会計			
I 収入の部			
1. 一般会計より繰入	1,000,000	1,000,000	0
(1) 総会	1,000,000	1,000,000	0
(2) 名簿	0	0	0
当期収入合計	1,000,000	1,000,000	0
II 支出の部			
1. 一般会計へ戻入	0	0	0
(1) 総会	0	0	0
当期支出合計	0	0	0
当期収支差額	1,000,000	1,000,000	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	1,000,000	1,000,000	0

(2) 運営基金特別会計

（単位：円）

科目	予算	実績	差異
I 収入の部			
1. 一般会計より繰入	0	0	0
当期収入合計	0	0	0
II 支出の部			
1. 一般会計へ戻入	0	0	0
当期支出合計	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	13,000,000	13,000,000	0
次期繰越収支差額	13,000,000	13,000,000	0

(3) 周年記念事業特別会計

（単位：円）

科目	予算	実績	差異
I 収入の部			
1. 譲受金収入	0	0	0
当期収入合計	0	0	0
II 支出の部			
1. 学生会活動助成費	250,000	164,000	86,000
2. 予備費	100,000	0	100,000
当期支出合計	350,000	164,000	186,000
当期収支差額	△ 350,000	△ 164,000	△ 186,000
前期繰越収支差額	3,326,592	3,326,592	0
次期繰越収支差額	2,976,592	3,162,592	△ 186,000

貸借対照表

（令和7年3月31日現在）

（単位：円）

資産	金額	負債及び正味財産	金額
【資産の部】		【負債の部】	
1. 現金	107,350	1. 前受金	49,000
2. 普通預金	4,213,430	負債合計	49,000
3. 定期預金	13,500,000		
4. 前払金	177,100	【正味財産の部】	
		1. 一般会計収支差額	786,288
		2. 特別会計収支差額	17,162,592
		(1) 総会・名簿特別会計	1,000,000
		(2) 運営基金特別会計	13,000,000
		(3) 周年記念事業特別会計	3,162,592
		正味財産合計	17,948,880
資産合計	17,997,880	負債及び正味財産合計	17,997,880

学生部会 (ECOCA) インタビュー

学生部会 (ECOCA) のモクタリさん (2025年度会長)・三輪さん・佐藤さん (2026年度会長)・高橋さんにインタビューしました。

・改めてECOCAの活動内容を教えてください。

ECOCAは2009年に経済学部同窓会の下部組織として設立された、学部公認団体です。設立以来17年目となり、経済学部の学生が運営しています。現在会員は4年生：45名・3年生：32名・2年生：66名・1年生：68名の計：211名、運営メンバーは約50人です。会員の会費は年3,000円で、会長は3年生 (モクタリさん) が務めています。(取材当時)

・ECOCAではどのようなイベントをされていますか？これまで特に印象に残っているイベント・企画はありますか？

新入生相談会・新入生対面交流会・OBOG交流会・就活準備講座・企業探求セミナー・卒業祝賀会など、毎月のようにイベントを開催しています。それぞれのイベントは主に2年生がリーダーを務め、企画から交渉、運営までを担当します。OBOG交流会などいくつかのイベントでは、同窓会からの支援をいただいています。

・ECOCAに参加しようと思った理由は何ですか？

ECOCAでは毎年、新歓の時期に広報担当がSNSで発信したりチラシを配ったりします。

また新入生を対象に新入生交流会・履修登録相談会、そのほか説明会を5回開いて、魅力を知ってもらう活動をしています。ほとんどの運営メンバーはこれらをきっかけに入会しています。

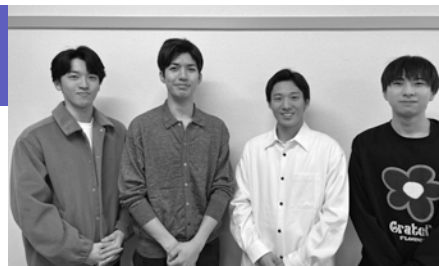
・学生部会の活動を通じて、どんな成長や学びがありましたか？

活動を通じてパソコンスキルや社会人の基礎ビジネススキルが身につきました。

また各種イベントを通じてOBOGの方々と接する機会があり、人脈が増えたと感じます。例えば企業探求セミナーの準備を通じて、コンサルタント会社の社長さんにインタビューをしたり、同窓会の交流会で学部長とお話をする機会があったりと、普通の学生生活では味わえない人生の刺激になりました。

さらに各種イベントのリーダーを経験することで仕事

の進め方や組織・人の動かし方を学ぶことができました。人として



左から三輪さん・モクタリさん・佐藤さん・高橋さん

もこれから社会人になって働く時に何事にも粘り強く取り組む姿勢が身に着いたと思います。

・普段の活動では「同窓会」をどのくらい意識していますか？

普段は学生主体で運営していますので、「同窓会」とはOBOG交流会や2年に一度の総会が主な接点です。普段の活動ではそこまで同窓会とのつながりを意識することはありません。

・どうすれば「同窓会」を学生にもっと身近に感じてもらえると思いますか？

同窓会に所属することのメリットを学生側にもっと伝えていただければと思います。例えば同窓会で業界ごとの会のようなものを開催してそこに学生が参加させていただいたり、同窓会の会費を卒業後5年間は無料あるいは段階的に割り引いていただいたり (注1) していただければ、参加するモチベーションになると思います。ECOCAとしても卒業生の皆さんと学生をつなぐかけ橋になればと思っています。

(注1) 現在、卒業後5年間は会費を年3,000円に割引く制度を実施しています。12ページの『同窓会「年会費」「協賛金」納入のお願い』をご参照ください。



経済学部同窓会懇親ゴルフのご案内

日時：2026年7月4日 (土)

場所：関西クラシックゴルフ倶楽部 〒673-1123 兵庫県三木市吉川町湯谷567

参加費：2万円程度 (昼食代・懇親会費込み)

参加ご希望の方はメール、FAX、電話にて事務局までご連絡ください。

皆様の参加をお待ちしております。



特集：「豊中キャンパスの近況」



阪急石橋阪大前駅と石橋商店街

2019年10月、「石橋駅」が「石橋阪大前駅」に改称されました。石橋商店街は小説「今夜、喫茶マチカネで」の舞台にもなりました。



学生会館・豊中福利（生協）会館・明道館

大きな変化はありません。昔懐かしい感じがして、学生の頃に買った気分になります。



阪大坂

石畳の舗装がされて、自転車は通行禁止になっています。毎年一月の十日戎の時期には、石橋商店街と経済学部松村ゼミの共催で、阪大坂を駆け登る「糸びす者選び」が行われています。坂の途中にある「憩食堂」は建物はあるものの営業していないようです。



今回の取材はECOCAの佐藤さん(右)・高橋さん(左)にご協力いただきました。ありがとうございました！

中山池

かつては阪大坂沿いに2つ池がありましたが、キャンパスに近い上山池は埋め立てられて学生交流会館（食堂も併設）に。中山池は遊歩道が整備されて、社会実験で手漕ぎボートを浮かべるイベントが行われています（松村ゼミ）。生態系保全のために水を抜く試みも検討されています。



法経講義棟

2014年に耐震改修・バリアフリー改修がされました。一階中央の吹き抜け部には大きな階段が設置され、「リニューアル感」と「昔ながら感」が調和されています。



大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館（旧医療技術短期大学部本館）を改装して2007年にオープン。博物館では、大阪大学キャンパスで発掘された、約45～50万年前に生息したワニの化石（実物）が展示されています。マチカネワニは2025年9月に天然記念物に指定されました。



大阪大学会館（旧イ号館）

昭和3年（1928年）に旧制浪速高等学校の校舎として建てられ、学制改革により大阪大学に移管されました。以降、旧教養部「イ号館」として使われ、2004年には国の登録有形文化財建物に登録されました。2011年、大阪大学が創立80周年の節目となる年を迎えるにあたって「大阪における学術の伝統を受け継ぐシンボル」として新たに「大阪大学会館」として整備されました。



（告知）ホームカミングデーのお知らせ

2026年5月2日（土）、豊中キャンパスにおいて、ホームカミングデーを開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています！

全学教育講義棟（旧口号館・旧二号館）

大阪大学では1994年に教養部を廃止。全学共通教育は、全学部生が共通して学ぶ基盤的な科目を、各学部の専門教員を中心に指導に当たっています。旧口号館・二号館は建て替えられて全学教育講義棟となっています。IT環境完備、談話スペースも各所に。入学から全学部生がここで学びます。



総合図書館

附属図書館本館は、耐震改修工事を受け、2009年に「総合図書館」として全面リニューアル。卒業生や学外一般の方も貸出利用することができます。



図書館下食堂

いわゆる「カンシタ」です。図書館下食堂も広く明るくなりました。月替わり企画など、メニューも豊富に。今は決済も生協の電子マネーが主流です。



サイバーセンター

かつて「大型計算機センター」と言われていた「サイバーメディアセンター」は、「データリテリィフロンティア機構」を核とした新しい組織「大阪大学D3センター」として2024年に創設・改称されました。全学共通教育ではプログラミングの授業が行われています。



大阪モノレール柴原阪大前駅

1997年に大阪空港～当駅間がつながり、豊中キャンパスのもう一つの玄関口となりました。駅前には市立豊中病院も移転しています。



掲示板

法経講義棟の向かい、法経学部棟の懐かしの掲示板です。履修情報や試験日程、休講情報をよく見たものです。今はwebシステムでも見られるため、学生がこの掲示板を見ることはほとんどないとか。

ご縁いただいて母校に出向中！

西村 智樹 (36期・1988年卒)



36期の西村です。在学中は同窓会前会長の井上先輩や広報部会の津田先輩と同じテニスサークルPICCOLOで、バブリーな青春を謳歌(笑)。1988年にサントリー(株)(現サントリーホールディングス(株))に入社以来、酒類営業・飲料企画を経て幾多のグループ会社に出向しつつ昨年に還暦を迎えました。

弊社副会長の鳥井信吾が大阪商工会議所会頭の充て職として理事長を務めます関係から、2023年に(公財)文楽協会に。また現在は弊社文化財団のご縁で母校大阪大学に出向し、豊中キャンパスと中之島センターに通っています。ゼミでお世話になった宮本又郎先生とも38年振りにお会いできました(写真)。

母校では、前号(第41号)で佐々木勝先生のご挨拶文中にありました学内シンクタンク=社会ソリューションイニシアティブ(SSI)の招聘研究員として、堂目卓生先生が主宰する「いのち会議」の運営に携わっております。SDGsの気運を2025万博で終わらせず、2030年ないし2050年に向けてアカデミアや企業がどう関わっていくのか?少しでもそのお手伝いができればと願いつつ、学生に混じってキャンパスライフを楽しく過ごしております。



宮本又郎先生と

関西の地に根差して半世紀

外山 俊明 (42期・1994年卒)



42期の同窓会代表幹事を務めております外山(とやま)です。在学中は伴金美先生のゼミ(計量経済学)に所属しておりました。伴先生は私のような不学の徒に対しても公平に接して下さる広いお心の方でいらっしゃったことが想起されます(感謝)。

卒業後は、大阪ガス株式会社に入社しまして、ずっと関西の地を離れることなく現在に至っております。入社早々、阪神・淡路大震災に見舞われまして、インフラ事業者として復旧活動に従事したことは強く記憶に残っています。被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。以来、仕事の方は主に人事・総務系の業務に従事し

ており、就職活動をされる学生の皆さんとも少なからずご縁のあるところです。

私は二代目の代表幹事として、十数年前に同じ会社の同期の方より引き継ぎました。学生時代の私は、勉強よりは部活動(陸上競技)に没頭しており、学友との親交は必ずしも広くなかったのですが、これも何かのご縁と受け止めております。同期の皆様にはぜひ総会に足をお運びいただき、少しずつでも交流の輪を広げられましたら、いつか同窓会を開催できるのではと夢に見ております。ご参加お待ちしております！



仕事とともに2人の育児に奮闘中

藤原 森 (61期・2013年卒)



61期の藤原です。在学中は小林敏男先生のゼミで経営戦略を専攻しておりました。2013年に卒業後、旭化成で人事を経験した後、デロイト トーマツ コンサルティング(現:合同会社デロイト トーマツ)へ転じ、現在は人事コンサルタントとして活動しております。

「学生時代にもっと深く理論を修めていれば…」と当時を省みつつ、実務と学問の橋渡しに努める研鑽の日々です。

私生活では、元々東京で暮らしていたのですが、田舎出身の身として首都の住宅事情に圧倒され、第一子誕生やコロナ禍を経て、縁の深い豊中市へ移住しました。リモートワークの普及により、東京のお客様と向き合いな

がら大阪に拠点を構えるという、柔軟な時代を実感しています。時折折れる石橋商店街は、店舗の入れ替わりこそあれ、今も変わらぬ温かさで学生時代の記憶を鮮やかに蘇らせてくれます。

現在は第二子誕生に伴い、半年の育児休業を取得中です。妻の体調を労ることを第一としつつ、息子2人の育児に奮闘する毎日は目が回るようですが充実しています。豊中キャンパスの至近に住む利点を活かし、今後は母校との新たな接点も模索しながら、仕事と育児の両立に励みたいと思います。



同期会・ゼミ会だより

22～24期同期会は年3回開催

22～24期と複数年度に渡っていますのは、23期単独でスタートしたものの参加者の友人が入学・卒業年次に差があるため参加対象年次の幅を広げたからです。

同期会はこの1年間に、2025年5月8日ニユートーキョー第一生命ビル店で12名の参加、9月11日ガーデンシティクラブ大阪で11名の参加、2026年1月8日「心たけ」で11名の参加を得て開催いたしました。年1回は参加者各自に近況報告してもらいますが、通常は自由な懇談で、話題は経済界の近況から健康（病気）の話まで幅広く又有益で楽しい情報交換をしています。

次回（第68回）は5月14日に予定していますので22～24期の方からの初参加も大歓迎いたします。新たに参加ご希望の方は同窓会事務局に連絡いただければこちらから案内させていただきます。では関係皆様のご参加をお待ちしています。



藤田佳久（23期・1975年卒）（写真左）
富田安信（24期・1976年卒）（写真右）

卒業40周年同期会を 総会にあわせて開催

2025年7月5日、堂島のレストランにて33期の卒業40周年同期会を開催しました。

同期全体に声をかけて行うのは10数年ぶり。今回は隔年で開催されている経済学部全体の同窓会総会の日程にあわせて行いました。

井上ゆかり前会長や総会当日の記念講演講師である百瀬さんなど、計17名が集まりました。在学当時、経済学部の同期200名のうち女子はわずか7名でしたが、今回そのうち4名が参加。還暦も数年前に過ぎていますがみんな元気。学生時代の懐かしい思い出話やウラ話に大いに盛り上がりとともに、それぞれの近況を知ることができ、和気あいあいと楽しい時間になりました。

同期はいくつになってもいいですね。ただ会を開催するとなると幹事が大変。しかしそこはさすが同窓会事務局。同期へのメール発信や住所のタックシール作成など大変助かります。同期会を総会の日程に合わせるのもオススメと思います。



今後も機会をみて開催できればと考えています。同期の皆さん、ご参加よろしくお願ひします。

津田龍司（33期・1985年卒）（写真右端）

（事務局より）同期会・ゼミ会をサポートします！

同窓会事務局では同期会やゼミ会のサポートも行なっています。「同期会やゼミ会をしたいけど連絡先がわからない…」「案内状の宛名書きが面倒だ…」「手頃な会場を探すのも一苦労…」など幹事は大変です。

事務局では、案内文があれば同窓会名簿に基づき、メー

ルが登録されている同期のメンバーにメールの発信をさせていただきます。また、郵送用の宛先タックシールも作成できます。会場は「ガーデンシティクラブ大阪」(P12参照)がオススメで、お得な同窓会プランが使えます。事務局(P12下欄参照)まで気軽にお問い合わせください。

各期の代表幹事

(敬称略)

卒期	卒年	氏名	卒期	卒年	氏名	卒期	卒年	氏名	卒期	卒年	氏名
旧1期	1951	角井壽保	24期	1976	富田安信	41期	1993	島田真吾	59期	2011	中川典哉
5期	1957	野原康彦	25期	1977	坂本孝治	42期	1994	外山俊明	60期	2012	大川淳士
6期	1958	森康次	26期	1978	藪本冬樹	43期	1995	椎葉淳	61期	2013	中道周平
9期	1961	小島勝利	27期	1979	岡本光司	44期	1996	高石秀之	62期	2014	佐野徹
10期	1962	小森努	28期	1980	安竹素之	45期	1997	濱田出	63期	2015	廣田和大
11期	1963	中野一輝	29期	1981	河添正己	46期	1998	大谷尚資	64期	2016	田中千紗乃
12期	1964	木越正宣	30期	1982	三木孝	47期	1999	大橋弘幸	65期	2017	岸本智弘
13期	1965	蒲田建三	31期	1983	小林敏男	48期	2000	駒喜多学	66期	2018	吉田侑真
14期	1966	高木正彬	32期	1984	尾形元	49期	2001	谷岡佳昭	67期	2019	西谷愛子
16期	1968	谷内増夫	33期	1985	津田龍司	50期	2002	高岸寛幸	68期	2020	加藤優介
17期	1969	井垣成量	34期	1986	奥村麻由美	51期	2003	呉服淳二郎	69期	2021	山澤正和
18期	1970	田中克明	35期	1987	友田泰弘	53期	2005	堺信夫	70期	2022	橋本克
19期	1971	南向明博	36期	1988	藤原正啓	54期	2006	赤川正周	71期	2023	田野佑也
20期	1972	南俊光	37期	1989	吉田正明	55期	2007	角垣旭彦	72期	2024	加藤寛之
21期	1973	元木幹治	38期	1990	山口一	56期	2008	酒井誠行	73期	2025	稲垣優美
22期	1974	梅名義昭	39期	1991	玄田真一	57期	2009	川原徹也	74期	2026	高橋樹輝
23期	1975	藤田佳久	40期	1992	前田紀幸	58期	2010	前野良太			

東京待兼会だより

会長 西本 麗 (28期・1980年卒)

東京待兼会では、東日本の同窓生の交流促進のためさまざまな活動を行っています。

1. 春季・秋季懇話会

法学部同窓会(青雲会)東京支部と共催で講演会及び懇親会を開催しています。春季はOFC(経済学部オープンファカルティセンター)とも共催です。

【春季懇話会】

2025年5月28日(水)
18:30から中央大学駿河台キャンパス19階Good View Diningにて開催しました。講師は大阪大学経済学部 安田洋祐教授(当時)に『日本経済の問題とチャンスー今こそゲーム理論を活用せよ』というテーマでお話をいただきました。約50名の参加がありました。



【秋季懇話会】

2025年11月29日(土)15:40から二松学舎大学にて開催。二松学舎常務理事 西畑一哉氏(青雲会東京支部長、法27期)が「漱石アンドロイドとAIがもたらす未来」のテーマでお話をされました。約60名の参加がありました。

2. 例会(勉強会)

知の継承を目指して勉強会を開催しています。阪大東京オフィスで開催しています。講師は基本的に同窓生の持ち回りです。毎回10-20名程度が参加しています。
第33回 7月6日 三浦洋氏 「中央アジアの地政学リスクにおけるジョージア」
第34回 10月1日 関林亨平氏 「『世界の航空機産業入門』出版にあたって」

3. 若手向け著名阪大卒業生との懇話会

今年度は開催ありませんでした。

4. ゴルフ部会

9月13日 利根パークゴルフ場にて開催(工業会・咲耶会会員も含め、3組10名の参加)
11月25日 阿見ゴルフクラブにて咲耶会ゴルフ部会との合同コンペ開催(3組10名の参加)

【告知】東京待兼会総会・春季懇話会を開催します
2026年5月18日(月)
総会 18:00～
講演会・懇親会 18:30～20:50
中央大学駿河台キャンパス19階 “Good View Dining”
(千代田区神田駿河台3-11-5)にて
講師 東京大学大学院 総合文化研究科
教授 阿古 智子氏
テーマ「中国で何が起きているのか、日本はどう中国と向き合うべきか」

東京待兼会(<https://tokyo-machikanekai.org/>)

名古屋待兼会だより

会長 藤原 政雄 (19期・1971年卒)

名古屋待兼会は、経済学部、法学部の卒業生を中心に昭和30年代に発足し、現在は全ての学部の卒業生により構成されています。愛知・岐阜・三重にお住まいの方が主な会員です。会の活動は「小の月の第三土曜日の18時から」を基本に例会と11月は総会開催です。例会では、講師担当の会員が30分ほど講話、その後会食懇談です。

昨年11月の総会には来賓として長田法学部長をお迎えし、大学の現状と将来構想をご講演いただきました。そして今回特別参加の青雲会(法学部同窓会)の山西会長にもご挨拶をいただき、大学渉外部門の中村麻貴



さんには発展していく大学の様子、未来基金についてお話いただきました。

我が会はコロナ感染拡大によ

るやむを得ない休会があったものの、60数年間では300回以上もの会を開催してきました。これは会員の皆さ



んがこの会合での交流を楽しみとしてきたからであろうと思います。世代を超えた会員同士の語らい、会に参加いただければこの楽しみを共有いただけることでしょう。(入会希望の方、同窓会事務局までご連絡ください)

昨年の例会の講話テーマは以下のとおりです。

- 2月例会 「『東海シニア自然大学』について」
- 4月例会 「私の杞憂=鍋の中の茹でガエルでないことを」
- 6月例会 「鉄と過ごした40年」
- 9月例会 「愛知県150年の歴史からのエピソード」

新幹事紹介



高橋 樹輝
(74期・2026年卒)

この度、同窓会第74期代表幹事を務めさせていただくことになりました。高橋樹輝と申します。

私がECOCAとして活動させていただいた期間は、「挑戦」と「繋がり」だったと感じています。コロナ禍を経て社会が徐々に活気を取り戻す中、私たちの活動も規模を広げ、これまで先輩方も経験されたことのないような大きなイベントにも挑戦することができました。そうした挑戦をメンバー一丸となって乗り越えてきたからこそ、人と人の繋がり大切さを強く実感する機会が多かったのだと思います。

また、同窓会の先輩方には、OBOG交流会や就職活動を通じ社会人の先

輩として多くの貴重なご助言をいただき、大変お世話になりました。今後は私自身が成長し、後輩に対して価値ある経験を提供できる存在になりたいと考えています。

代表幹事という立場は自分が想像していた以上に責任の重い役割だと感じています。未熟な点も多く不安もありますが、私が感じてきた「繋がり」の大きさや「大切さ」を少しでも多くの方に感じていただけるよう微力ながら同窓会の発展に尽力してまいります。

皆様には引き続きお世話になることと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2025年度経済学部卒業生就職・進学先 (大学院卒を含む)

(順不同)

就職先	人数	九州電力株式会社	1	東京海上日動火災保険株式会社	1	株式会社ボストン・コンサルティング・グループ	1
RSK山陽放送株式会社	1	仰星監査法人	1	東京ガス株式会社	1	株式会社マクロミル	1
株式会社あおぞら銀行	2	GLE株式会社	1	有限責任監査法人トーマツ	1	みずほ証券株式会社	2
アクセンチュア株式会社	5	KDDI株式会社	2	徳島県庁	1	三井住友海上火災保険株式会社	2
アコム株式会社	1	京阪ホールディングス株式会社	2	内閣官房 内閣情報調査室	1	株式会社三井住友銀行	4
有限責任あざさ監査法人	2	厚生労働省	1	内閣府	1	三井住友信託銀行株式会社	3
アバナード株式会社	2	独立行政法人国際協力機構	1	奈良交通株式会社	1	三菱HCキャピタル株式会社	1
アビームコンサルティング株式会社	1	株式会社小松製作所	1	日本貨物鉄道株式会社	1	三菱化工機株式会社	1
アフラック生命保険株式会社	1	コムシス情報システム株式会社	1	日本ハム株式会社	1	三菱地所株式会社	1
EY新日本有限責任監査法人	5	株式会社サーバーワークス	1	日本郵政株式会社	1	三菱重工業株式会社	1
EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	1	サントリーホールディングス株式会社	2	日本アイ・ピー・エム株式会社	1	株式会社三菱UFJ銀行	3
一汽トヨタ自動車有限会社	1	JIG-SAW株式会社	1	日本アイ・ピー・エムデジタルサービス株式会社	2	三菱UFJ信託銀行株式会社	1
伊藤忠商事株式会社	1	株式会社SHIFT	1	日本生命保険相互会社	5	三菱UFJニコス株式会社	2
株式会社ADKホールディングス	1	株式会社十八親和銀行	1	独立行政法人日本員務振興機構 アジア経済研究所	1	明治安田アセットマネジメント株式会社	1
SBIホールディングス株式会社	1	信州大学	1	日本郵船株式会社	1	明治安田生命保険相互会社	1
SBIマネープラザ株式会社	1	株式会社ストライク	1	日本ロレアル株式会社	1	株式会社MonotaRO	1
株式会社NTTデータフィナンシャルテクノロジー	1	住友電気工業株式会社	2	農中情報システム株式会社	1	株式会社LIFULL	1
大阪ガス株式会社	1	双日株式会社	1	野村證券株式会社	2	株式会社りそな銀行	3
株式会社オープンハウスグループ	1	双日テックイノベーション株式会社	1	パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社	1		
沖縄電力株式会社	1	第一生命保険株式会社	1	パソニックオペレーションズ株式会社	1		
オリエンタル白石株式会社	1	大日本印刷株式会社(DNP)	1	株式会社パルコ	1		
オリックス株式会社	1	タイムズコミュニケーション株式会社(パーク24グループ)	1	株式会社バンダイナムコビジネスアーク	1	進学	人数
鹿児島国際大学	1			株式会社日立システムズ	1	大阪大学	2
学校法人武蔵野大学	1	大和証券グループ	2	株式会社日立製作所	1	大阪大学大学院経済学研究科	7
株式会社KATIX	1	中国銀行股斌有限公司	1	華勤技術会社	1	大阪大学大学院工学研究科	1
株式会社ケアリッツテクノロジーズ	2	中国工商银行股フン有限公司	1	富士大学	1	京都大学生命科学院	1
株式会社田辺鉄工所	1	中部電力ミライズ株式会社	1	株式会社フューチャーリンクネットワーク	1	京都大学大学院・経済学学科	1
株式会社東海建設	1	株式会社TKC	1	株式会社フラッグシップオーケストラ	1	滋賀大学データサイエンス研究科	1
関西学院大学教員組合	1	デロイト・トーマツコンサルティング合同会社	1	フロンティア・マネジメント株式会社	1	東京大学大学院経済研究科	2
関西テレビ放送株式会社	1	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社	1	株式会社ベイカレント	2	MACSS、University of California、Berkeley	1
キーエンスソフトウェア株式会社	1	東急株式会社	1	株式会社北陸銀行	1		

2026年2月現在 大学の集計を元に作成

「大阪大学経済学・経営学のトビラ」シーズン6へ!

2021年7月から同窓会活性化プロジェクトの一環として始まった「大阪大学経済学・経営学のトビラ」シリーズは2026年度にシーズン6を迎えます。

私たちの共通の学問分野である経済学・経営学を生涯の学びの友にしようと経済学部の先生だけでなく、現役学生、卒業生(中堅・エグゼクティブ)の皆さんに登壇

いただき、毎回充実したイベントとなっています。参加者・オンデマンド配信アクセス数も当初年間700程度でしたが、現在は倍増しています。今後とも皆さんの積極的な参加をお願いするとともに、ご意見、ご要望等をご遠慮なくお寄せ下さい。

同窓会副会長・東京待兼会会長 西本 麗(28期・1980年卒)

開催実績・予定(2025年4月～2026年5月)

開催日	テーマ	講師(肩書は講演当時のもの)
2025/4/9	たかがセメント、されどセメント	太平洋セメント(株) 会長 不死原 正文氏(26期)
2025/5/3	恩師再び	名誉教授 澤井 実氏
2025/5/28	日本経済の課題とチャンス 今こそゲーム理論を活用せよ	経済学研究科 教授 安田 洋佑氏
2025/7/5	変化する日本株式市場とPEファンド	ペインキャピタル・ジャパンLLC 会長 百瀬 裕規氏(33期)
2025/7/9	私の経済史・経営史研究の歩み	名誉教授 阿部 武司氏
2025/10/2	フューチャー・デザイン	大阪大学工学研究科 教授 原 圭史郎氏
2025/12/20	いのちをめぐる共感と対話 ーアダム・スミスの思想から「いのち宣言」へー	大阪大学 総長補佐 社会ソリューションイニシアティブ長 堂目 卓生氏
2026/2/17	経済学部留学帰国者成果発表会兼懸賞論文表彰式	
2026/3/9	暗号資産取引所創業から10年。暗号資産を再考する。	元富士銀行・ドイツ銀行・暗号資産取引所 北野 篤司氏(33期)
2026/4/3	木を軸にしたサステナビリティ経営(仮)	住友林業(株) 副社長 川田 辰己氏(34期)
2026/5/2	恩師再び	(名誉教授のご参加調整中)
2026/5/18	中国で何が起きているのか、日本はどう中国と向き合うべきか	東京大学大学院 総合文化研究科教授 阿古 智子氏

同窓会「年会費」「協賛金」納入のお願い

同窓会の活動は皆さんの年会費・協賛金で成り立っています。ぜひご協力を。

会報「待兼山」の発行や各方面でご活躍中の同窓生や現役の教授等を講師に迎えて開催しているシリーズ講演会「経済学・経営学のトビラ」などの活動は、皆さんからの年会費・協賛金で成り立っています。また、今後は昨年就任された藤井政志会長のもと、2年後の80周年を見据えて、同窓会活動の益々の活性化を図ってまいります。このような活動の趣旨をご理解いただき、年会費・協賛金の納入について、ご協力をよろしくお願ひいたします。なお、年会費免除制度を適用されている第31期(1983年3月卒業)までの方は、協賛金にてご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

年会費 5,000円(2023年3月以降の卒業生は卒業後5年間は3,000円)

協賛金 1口 1,000円(できれば3口以上)

年会費の納入方法は、年会費納入システム(自動引落し)のほか、同封の振込取扱票によるコンビニエンスストア、スマホ決済、郵便局での払い込み、さらには銀行振込をご用意しています。協賛金につきましては、振込取扱票による郵便局での払い込みになります。詳細は、同封の「年会費納入のお願い」又は「協賛金のご協力について(お願い)」をご確認ください。よろしくお願ひいたします。

会費納入特典「ガーデンシティクラブ大阪」をぜひご利用ください

年会費又は協賛金を納入いただいた方には、同窓会会員証を送付させていただきます。この会員証をご提示いただくと、大阪・西梅田のハービスOSAKAにある法人向け会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」(GCCO)をメンバー扱いでご利用いただけます。ぜひご利用ください。

- ①「GCCO」のメンバーとして、同時に10名までメンバー利用が可能です。
- ②「GCCO」は、少人数の会合から多数のセミナーやパーティまで対応可能な各種の貸室とゆったりとくつろげるラウンジ(最大100名利用可能)を備え、会員各位の交流の場とすることはもちろん、同窓会会員や大学教員、学生部会員が、会議・セミナー・パーティなど多目的に利用することが可能です。
- ③同窓会プランもあります。期会・ゼミ会・同窓生の会合などにご利用ください。

「ガーデンシティクラブ大阪」(略称:GCCO)
大阪市北区梅田2丁目5-25(JR大阪駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約5分、ハービスOSAKA 6階)
TEL 06-6343-7770 FAX 06-6343-7773
HPアドレス <https://www.gcco.jp/>

WEB会員名簿のご確認・修正・追加(特にEmailアドレス)にご協力ください

WEB会員名簿は同窓会ホームページ上部の「会員ログイン」からアクセスできます。現行のID、パスワード(当会報に同封しています)でご利用いただけます。ログインするとご本人の登録情報が表示されます。年会費を納入いただいた方は卒業期や勤務先、出身高校などで検索もできます。この機会にご自身の情報の修正・追加のご協力をお願いします。特にEmailアドレスの登録があれば同窓会の情報が受け取れます。

ご不明な点などございましたらホームページの「お問い合わせ」からどうぞ。

同窓会ホームページ: <https://www.web-dousoukai.com/machikaneyama/>

WEB会員名簿: <https://www.web-dousoukai.com/machikaneyama/weblist/>



同窓会 HP



WEB 会員名簿

何でも気軽に
お問い合わせ下さい

同窓会事務局 大阪大学経済学部同窓会事務局

E-mail: machikane@econ.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6850-5275(火・木・金13~17時) FAX: 06-6850-5276